

平成28年度第2回東濃看護専門学校運営協議会議事録

日 時：平成28年12月26日(月)午後2時10分

場 所：東濃看護専門学校2階会議室

次第

1 開会 学校長あいさつ

2 会長あいさつ 小島会長（土岐市副市長）あいさつ

会議の成立の確認 8名の出席で会議の成立を確認。

3 議事

会長が議事進行。

(1) 平成28年度東濃看護専門学校事業特別会計補正予算（案）について

事務長：（資料に基づき説明）

意見なく、承認。

(2) 平成29年度東濃看護専門学校事業特別会計予算（案）について

事務長：（資料に基づき説明）

委 員：各市負担金について。全体の負担金額は下がっているのに、瑞浪市は増えているが理由があるのか？

事務長：負担金の内訳については、特別負担金として40%を土岐市で、人口割として30%を多治見市と瑞浪市で、学生数割として30%を3市で按分となっている。学生数割の按分は、勤務先住所で判定するため、瑞浪市勤務の学生数が前年度より増えたことによる。

委 員：「使用料」について、前年度比で200万円の増額とあるが。入学

金を40人分で計上しているが、平成29年度生は、定員枠いっぱいの学生を確保するという決意のあらわれと思ってよろしいか。

事務長：そのように思っていたきたい。

事務局：今年度の3年生が33人であり、来年度の入学生を40人と見込んでいるため、その差額分で全体として増額となっている。

委員：歳出経費の（節ごとの）前年度比を教えてください。

委員：（質問事項について説明）

委員：全体として節約しているのは確認できたが、ガソリンや重油といった燃料費については、昨今、価格が高騰しているが積算単価等はどのようにしているのか？

事務長：土岐市の予算単価で積算している。

委員：「手数料」の「再試験料」について。128人分と説明があり昨年度と比べて増えているが、再試験を受ける学生が増えるという見込みか？

事務長：前年度実績に基づくものであり予算額は増えている。また実際に再試験を受ける学生は増えてきている。

他に意見なく承認

4 その他

(1) 平成29年度生推薦入学試験の状況について

事務長：（資料に基づき説明）

委員：圏域内の学生について。推薦入試で7名、一般入試の応募段階で6名とのことだが、一般入試で全員合格して入学しても圏域内の学生は13名ということか。

事務長：ご指摘のとおり。

委員：昨年度と比べて減ってきている。圏域外の学生が圏域内に就職してくれるとよいが。せっかく圏域内の就職率が上がってきているので。

事務長：平成28年度の一般入試で入学した圏域内の学生は13名だったので半減している。

(2) 平成28年度中の主な行事等

事務長：（資料に基づき説明）

委員：8月2日の「東海北陸地区自治体看護学校協議会」はこの学校で開催したのか？

事務長：会長校として土岐市のセラトピア土岐にて開催した。東海北陸地区の37校の自治体公立学校の総会として開催。

委員：多治見市医師会准看護学校で「戴帽式」を「立志式」に改めたという話をきいたが、この学校ではそうした催しはあるのか？

副学校長：当校は准看護師が入学してきており、既に「戴帽式」は済ませているため、そのような催しは行っていない。

(3) その他

委員：卒業生の国家試験の合格率は、100%に近い数字を目標にしているということによろしいか？

副学校長：合格率100%を目指して頑張っている。

平成28年度第2回東濃看護専門学校懇談会について、事務局長より説明。